

# 「あさひかわオープンカレッジ」のご案内

共催：旭川市教育委員会

日時：2017年9月9日～11月25日(土曜日)全6回 13:00～15:00

場所：フィール旭川7階 講義室(日によって場所が変わります。裏面へ記載)

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと旭川市教育委員会とが連携し、市民のための公開講座を開催します。(資料代として各1講座、500円いただきます。ただし、学生・生徒は無料です。) なお、手話通訳が必要な方は、早めにお申込みの上その旨お伝えください。

## テーマ「これからの旭川」

9月 9日(土)「東日本大震災から学ぶこれからの旭川  
～被災地における子ども支援を手がかりに～」

講師：旭川大学短期大学部 准教授 清水冬樹

9月30日(土)「アジアの外国語教育」

講師：北海道教育大学旭川校 教授 石塚博規

10月14日(土)「老後の居場所づくりを考える」

講師：旭川大学 教授 安藤 均

10月21日(土)「コンピューターの中の立体

～作る、取り出す、入り込む」

講師：東海大学札幌キャンパス 教授 渡辺宏二

11月18日(土)「旭川高専の技術による旭川地域との連携を  
考える～ものづくりのお手伝い～」

講師：旭川工業高等専門学校 技術長 山内広也

11月25日(土)「発がん物質をどのように見つけ出すか  
～食品と医薬品の安全性をチェックする～」

講師：旭川医科大学 准教授 日下部博一

※ 講師の都合により、内容等が変更になる場合があります。

お申込み・お問合せ 一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

TEL&FAX 0166-26-0338

Mail [awbchiroba@gmail.com](mailto:awbchiroba@gmail.com)

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムでは、市民のみなさんの身体的・精神的・社会的な健康の達成と、元気な地域の形成に貢献できるよう様々な活動を行っております。本講座も生涯教育のひとつとして、単なる知的興味の満足や伝達に終わるのではなくともに地域の課題を考え、地域づくりに取組む契機となることを目指しております。お気軽に参加ください。(興味のある講座だけでも受講できます。)

定 員：各講座30名

募集開始日：8月18日(金) 10時より

(道民カレッジ連携講座：各2単位)

### 講義概要

9/9 (土) (シニア大学講座室)

「東日本大震災から学ぶこれからの旭川～被災地における子ども支援を手がかりに～」

2011年3月11日から現在に至るまで、あまり明らかにされてこなかった被災地の子ども支援の実態を手がかりとした子どもにやさしいまちづくりの姿を概観しながら旭川で暮らす市民の暮らし方、生き方について考えたいと思います。

9/30 (土) (シニア大学講座室)

「アジアの外国語教育」

アジア諸国では2000年前後から小学校での英語教育が始まっています。その結果、韓国・台湾などのTOEFLの成績は大きく向上しました。一方、日本はその成績は世界でも下位グループに所属し、特にスピーキング能力は文字通り世界最下位となっています。本講座では、アジアの国々の英語教育の歴史と現状を述べるとともに、現地の授業や学生とのインタビューの様子の録画も紹介します。

10/14 (土) (シニア大学講座室)

「老後の居場所づくりを考える」

私の属する団塊の世代は今年古希を迎える人も出てきます。「老いては益々壮なるべし」のことわざがあるように、高齢者に求められる活力を維持するためには、地域で居場所を見つけることが大事です。地域における居場所づくり・仲間づくりとしての交流サロン、働く場所についてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

10/21 (土) (共用会議室1)

「コンピューターの中の立体～作る、取り出す、入り込む」

3Dモデリング(立体を作る)、3Dプリンティング(立体を取り出す)、VR仮想現実(立体に入り込む)技術が身近なものになって来ています。家庭用のコンピューターシステムやスマートフォンを使ったこれらの事例紹介を通して、今後の産業がどう変わり得るかを考えていきたいと思ひます。※昨年度と同様の内容になります。

11/18 (土) (シニア大学講座室)

「旭川高専の技術による旭川地域との連携を考える～ものづくりのお手伝い～」

旭川高専の技術職員は、ものづくり等に関連する専門分野の技術を有し、実習、実験などの支援を行っています。それらの技術や事例等を紹介しながら、旭川地域のためにどのような貢献ができるのかを考えていきたいと思ひます。

11/25 (土) (共用会議室1)

「発がん物質をどのように見つけ出すか～食品と医薬品の安全性をチェックする～」

遺伝子や染色体を傷つける化学物質は、正常な細胞をがん(癌)化させるおそれがあります。私たちが摂取・使用する食品(添加物)、医薬品、医療用具、化粧品などは、製品開発の初期段階でそのような物質を含んでいないことがチェック(試験)されています。講義では、その試験が実際どのように行われているのかを解説します。

